

100キロマラソンじゃあ〜なる

5245

997-0826 鶴岡市美原町30-24
 ☎0235(22)3669
 090-2986-7724 携帯

1984年9月15日第1号発行〜

2009年11月17日



塞

私ランしてが、
 周辺で
 グを志向
 人は多い
 日連続
 天候が
 くれなくな
 るので好
 宜くない
 例がある
 この類の
 思うことは
 リ…。際
 この界
 濡れずん
 できる所
 ている。
 唯一の
 風が吹き
 車の轟音が
 ことである
 かし、雨
 みれて走る
 すれば、この
 下時季の
 場所として
 たいところと言
 よう。
 加茂坂
 その場所
 今夕も
 ぼどが汗
 ました。良い

スタート40分前にブロック内へ入る。4、50名はもう内にいる。まあ、のんびりスタートし
 る。ストレッチ中、何とはなしに隣り男と話になった。宇部の人で、初フルだそう。去
 年のこの大会で友人の応援に来、お祝いしようになったという。「僕も職場で
 隣の席の同僚がマラソンして…。皆んな、そんなものなのさ。高橋は、目前に帯
 立つアークを待たせたり、160m以上あって、頂部の半球は展望台になっている。360
 の眺望だそう。昔は火の山公園の展望台から関門海峡が一瞥でしよね。昔は
 1980年代のこと。

8:30になり、先頭がスタートした。僕達がスタートラインを踏んだのはそれから2分後
 だった。初め雲の多い空がすっきり晴れたから、時間が早いのか涼しい。この日の
 気温であってくれればと願った。片側3車線の道路を両側使して走る。2度曲がって国道9
 号線に出ると往路は左側の車線のみとなる。コースは国道9号線を東北に、長府まで行
 って折り返す。

明治期に建てられたと思しき洋館が左手に2つ並んでいる。丘の上に鎮座する神社に
 は大きな河豚の像。セキで日清講和記念館の石の春楓楼。そして赤間神社の御本殿、
 白木の社殿が、いずれも左手に現われる。右手に海を隔て、大きな唐土布湯の建
 物。セキで先方に関門橋が見えて来る。明石海峡大橋に似ている。勿論、海峡の
 幅は明石の方が遙かに広い。従って橋の長さも比較にならない。画になる姿は
 1/2はどちらも遜色がない。ランナーの1人が立ち止まって写真撮る。生憎今は
 逆光だし、海峡には霧が立ちかかっている。

この大会、途中関門の数が矢鱈多い。10分折もある。しかも早い段階で次と
 現われる。第1関門は3.3km地点で、スタート後40分。時速5kmつまり歩く速さ位
 で設定している。余り意味がなない。最初から歩いて、いる人はまさかいないだろう。第2
 関門は第1折返し点の7.9km。これから1時間10分後から、流石に歩いて、いかにかか
 ってしやう。いかにしても、国道(9号線)を走る(銀だ)や専用自動車道などを使っての
 大会。警察からうるさい注文があるのだから。とんてんこまに規制を解除して行
 くという訳か。

壇、浦を過ぎた辺りで、早くも先頭が折り返して来る。後続の集団が大きく離れての独走だ。
 給水所が頻りに現われる。多過ぎる位だ。15ヶ所、というよりは2.8km毎。第1給水所は5.2kmの
 所にあるから、実際、第2以降の間隔はもっと狭い。それでも天候がよくなったので初めから積極

的に給水した。しかし、大井川マラソンにもそうだったが、スポーツは全く用意されていなかった。
 時に雪の降る時もある。3月初めの篠山マラソンでも、スポーツは用意されている。尤も、この日は
 は雨の大会となり、それでもスポーツランナーにすすめるスタッフは気の毒だった。

折り返してから、10km辺りにさしかかると道はなだらかな。沿道にハンギルの書かれた看板が並んで
 いるのが目に入った。セキで私設の給水所が現われ、そこにはハンギルと共に漢字で「給水
 所」と書かれた看板が立っていた。韓国の国旗「大槓旗」の小旗もち振られている。そうい
 えは開会式の時、韓国からの参加者がいると聞いていた(あとで、プログラムをみると、男女
 計37名とあった)。

関門橋へ戻ってくる。往路の時と違い、霧ははれ、陽射しを受けて美しい。また写真を撮
 っているランナーのスタート地点近くに、コースは国道9号線を離れ、埋め立ての海奇りを、
 全く距離調節はし、思えぬ、まるで虫垂のような小さい折り返しをする。戻って来て、大地裏だ。
 あとは海岸通りを抜けて下関港第1突堤入口の前を過ぎて行く。足許には何か所か、
 使われていない鉄道の引き込み線路がある。JR山陽線の高架下を潜り、ぐるりと回り込
 んで関門橋を渡る彦島である。

結構長い彦島トンネルの中に20km地点がある。トンネルを抜けると上り坂が始まる。斜
 度は小さいが、橋の中央部まで1km以上と長い。この彦島大橋は小瀬戸と呼ばれる本州
 と彦島との間の狭い海峡にかけられている。大きな船が通るのだから、全体がアーチ状になっている。
 左手、響灘という日本海の一部が目の前にひらける。素晴らしい眺望である。ゆっくり走っている
 ので楽しめる。

もう先頭が帰って来た。依然として独走である。大部と第2集団、第3集団が来る。僕
 は坂を下っているが、彼らは上って来る。女子のトップも来た。ゲストの市川良子選手だ。開会
 式では「皆さんと一緒に楽しみたい」と言っていたが、これは真逆だ。

海をすり抜け眺めながら行き、もう一度短かいトンネルに入る。これが下っている。抜け
 たところで国道191号線に出て左折する。この国道ははるかに別れて、以後は折り返し、
 真新しい道をすり抜けて行くことになる。セキで左手、海の上に小さな島が見えてくる。橋がか
 かっている。橋の畔まで下ると、太鼓・三味線による賑やかな演奏がランナー達を
 迎える。第1折り返し点でも同じような曲が奏されていた。聞いておや、とこの時思った。今
 度も耳を澄ませば、三味線は太極のような音である。まるで津軽三味線のような音色である。

僕の前に行くランナーの背中にハンギルの文字があるのに気付いた。上は列はクラブ名だろう
 か。下は名前だ。この人は金某というようだ。彼は前後に立ちまわらずとゴールまで一緒にいた。
 みているとカメラを手にして、時々景色を写している。余裕である。

さて折り返しの島だが、長州出島という。長崎出島は聞いたことがあるが、こちらは初めて聞
 く。倉庫のような建物が1つぼんぼん建っているだけだ。折り返して橋へ戻るとそこが30km。
 今回はとにかく歩きたい。先週は26kmから歩いて、折り返しをくり返した。同じことはくり返した
 くないので、今回は肩力を抜いている。それでも同じように疲れは襲ってくる。昔の体力、走力は既
 に使われて久しいというのか、2週連続のフルだ。当然だろう。

この大会のコース、海岸や橋を渡るのが多いせいか、風を受けることが多い。ゆっくり走って
 いるので風は別に邪魔にならない。心地よい一方の風である。気温もさして高くなっていない。そ
 れでも僕は暑く、エイドの氷やスポーツドリンクを飲み、水は一口飲んで残りを頭にかけると

私ランしてが、
 周辺で
 グを志向
 人は多い
 日連続
 天候が
 くれなくな
 るので好
 宜くない
 例がある
 この類の
 思うことは
 リ…。際
 この界
 濡れずん
 できる所
 ている。
 唯一の
 風が吹き
 車の轟音が
 ことである
 かし、雨
 みれて走る
 すれば、この
 下時季の
 場所として
 たいところと言
 よう。
 加茂坂
 その場所
 今夕も
 ぼどが汗
 ました。良い

100キロマラソンじゃあ〜なる

5246

1984年9月15日第1号発行〜

997-0826 鶴岡市美原町30-24

☎0235(22)3669

090-2986-7724 携帯

2009年11月18日



幾分寒さの度合いが増したな?と思つたら、遠い嶺から近くの山まで白く降りていた。黄金街道のコース傍にある金峰山に続く、母狩山の中、冬の使者が到達してしまいました。このまま本格的な冬になるとは思えないのだが、鬼の角、寒い!

寒さと共に修験の山、羽黒山の「大晦日イベント「松例祭」」のための募る「松の勸進」の法螺が鳴り響いて来ました。

「羽黒山、松の勸進、ザーン」と唱えて鶴岡の一軒一軒に廻ってきます。

5246 からつぎ

くり返す。その際足を止めるし、バナナやパンを食べる場合は、ゆっくり歩きながら味わうと口にした。歩くまいの誓いも実際には少し破っている。

往路は下っていると感じ短かい方のトンネルも、復路来てみるとさびさびと上っているように思わない。それだけスピードが落ちているのだらう(30Kから50Kは分かる)。高島大橋の復路。氷でもかたばかりに上りが長い。右手に広がる海は穏やかに午の光を浴びている。関彦橋も渡り終え、あとはゴールまで平坦な道だ。

40Kを過ぎた辺りだった。背後でバタンと何か倒れる音がした。エイドのテーブルが倒れたのだらうと思つたら、女の声で「大変!」と叫び。まさか、と思つても振り返らず走り続けた。氷に滑っている速さではなくなっている。その証拠に、背後からスタッフの女が前方へ駆け抜けて行く。「お医者さん!」と叫びながら。嗚呼、やはりそうだったのだ。後めたい思いをしながらいながら、じりじり助かる生命を、僕は冷淡にも見捨ててしまった。済まない。何れでも4時間半を切りかけたからだ。許して欲しい。

残りはいくらも。でも仲太と切りつかない。ゴールの目印であるタワーはすぐそこに見えておのけ。最後はそのタワーの周囲を3/4周回れという。

セツとアーチをくぐって終った。4時間28分だった。金さんも僕のすぐ後ろでゴールした。おめでとじいって握手したら、彼は僕に向かってカメラのシャッターを押したのである。さてその写真どうするのだらう。別に僕の名前も住所も聞かされた。

その時だ。近くをサイレン鳴らして救急車が走って行った。そうか、やっぱりな。

完

寄進は金、米がメイン。

初て、数日前から。否10日程か? ロングタイツをはいてランニングを始めています。

下半身をびつと締め(圧迫)してるせいで寒くはありません。

冬季練習がせぬものになること必至。

東京マラソンも使われたいことに決まりました。

足が過保護になることだけは用心たいです。

寒暖の差が激しい日が続いています。菊地さん、皆さん、お夜わりおつかいせんか。ジャーナルと共に相崎太鼓の皆さんからの写真を送って頂き有難うございました。ジャーナル、写真を見て、ホワ〜と嬉しい気持ちになりました。

10月はバタバタと過ぎて精神的に疲れてしまって、あ〜と言う間に11月になっていました。

それでもおかげさまで身体は元気です〜。週に1回くらいですが、相棒のランニングシューズとマラニックテートしています。

お馬川染みの吹田万博辺りは落ち葉が増えて、「ああ、冬が近いんやなあ〜」ってちびちびと淋しくなってます。な〜。乙女チックな...

食の秋、特に新米が美味すぎるこの季節を、もっとゆっくり味わっていたいのになあ〜。冬は冬でお鍋が美味しいですが。

結局、美味しいものを鰯腹食べたってけちのてしほうね。あと、お酒と♡

そのためにマラニックとウォーキングをしっかりとお腹を空かせておかないと...。このころ休日に主人と「秋の関西1日パス」を利用しています。

JR・京阪・南海電車が提携している社で決めた区間に限り、快速列車などを乗り放題の1日パスです。